大阪市　生成ＡＩパイロット校

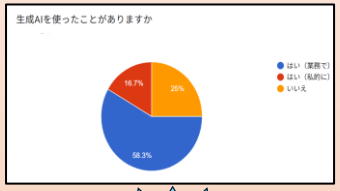
大阪市立田辺中学校（児童数：612人　教員数：45人）

導入背景 目的

校務が”楽”に”楽しく”なるように！！
～　教職員の働き方改革をめざして　～

前年度　リーディングDXスクール事業指定校として、授業DXと校務DXの基礎の構築

① 導入段階の取組　～ 生成AIに関しての研修会＆意識調査 ～



約4割の教員が業務で活用していなかった！

Ⅰ．校内研修会

５月
校務DXを進めていく中で生成ＡＩをどのように活用していくのかを検討

７月
・生成AIパイロット校として事例創出
・意識調査と実態把握

10月
Microsoft社との研修
Copilotの活用イメージを共有

２．情報収集・共有

９月
・枚方市教育委員会との情報交換
①生成ＡＩ活用モデルの構築方法
②活用内容の共有

11月
・沖縄県沖縄市立諸見小学校
沖縄県沖縄市立コザ中学校
沖縄県嘉手納町立嘉手納中学校
への視察
①校務ＤＸをどうすすめるか
②生成ＡＩの活用に向けての取組
③生成ＡＩを活用した授業展開

② 運用段階の取組　～「教育利用」をめざした生成AI活用の模索 ～

教材作成【Kahoot！問題作成】

Microsoft Copilot エージェント

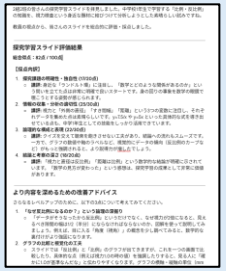
エージェント機能を使い、あらかじめ条件を入力しておくことで、Kahoot!の問題作成を簡易なプロンプトで行うことができ、そのまま問題のインポートができる。

～活用者の声～
・Kahoot!の問題作成の時間がかなり短縮できた。
・生徒たちが間違えそうな選択肢を設定してくれるので、良問を簡単に作成できる。

教材作成【プレゼンテーション資料の評価】

Google Gemini Gem

探究学習のプレゼンテーション資料を項目ごとに評価し、改善案などを得る。それらをふまえて生徒にフィードバックする。



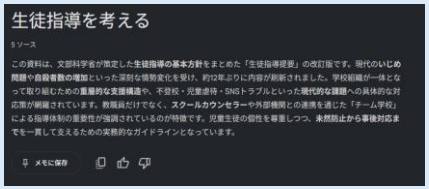
～活用者の声～
自分では気づけない間違いや、より良い言い回しなどに気づくことができるうえ、客観的な分析が得られるので、とてもありがたかった。

校内研修資料【生徒指導研修】

Google NotebookLM

生徒指導提要や本校独自のルールブックをソースとして生徒指導研修資料を作成した。

～活用者の声～
生活指導における様々な資料を簡潔にまとめてくれるため、生活指導における判断の材料として役立っている。これによって、教員の負担も多少は軽減できると思う。



教材作成【楽しく学べるコンテンツ作成】

Canva AI

生徒たちの状況に応じた独自の学習コンテンツを生成することで知識・技能の定着を図る。

～活用者の声～
繰り返し練習できることや、わかりやすいインターフェイスにより、苦手な生徒も取り組みやすかった。

③ 成果検証　生成AIを校務のパートナーに！
～ 次は授業での活用を目指して ～

活用効果　～ 校務の効率UP ～

教職員アンケート結果より

生成AIのことを理解している。
7月：33.4%　⇒　12月：**55.6%**

教育現場で活用できると考えている。
7月：66.6%　⇒　12月：**88.9%**

生成AIを活用したことがある。
7月：58.3%　⇒　12月：**88.9%**

生成AIの日常的な活用の定着、生成物の質の高さや活用方法の工夫が見られた。教育への活用を期待する割合も高かった。

教員の声　～「校務の時間」を「生徒との時間」に ～

・自分で作成した案に「抜け」がないか確認が容易なうえ、決まった言い回しの「定型文」を簡単に作成できるのが便利です。
・とても便利ですが、間違った情報を出力することもあるので、こちらで、その情報が間違っている、違和感があるというのを察知できる知識がいる。自分自身がより勉強していかないといけないと感じた。
・プロンプト入力が何より大事だと思います。その技術が拙いのでもっとスキルを高めていきたい。
・研修会などを通して、合理的なヒントや気づきを得ることができ、校務の効率化を図ることができた。

取組の課題と改善点

校務のパートナーから、学びのパートナーへ　教員側に情報の真偽を見抜く知識が必要であると感じた。ファクトチェック研修などを開催し、フォローアップしていきたい。校務での利用は進んだが、授業での活用はまだ限定的である。校内で生成AIに関する情報を共有するためのシステムをさらに強化し、授業で有効に活用していきたい。